「新たな第1歩を」両町村で閉庁式

3月24日、合併を3日後に控えた両町村で閉庁式が行われ慣れ親しんだ「八森町役場」と「峰浜村役場」に別れを告げました。

八森町では、職員らがファガス文化ホールに集合。加藤町長が「51年6か月間先輩方が作り上げた歴史を引き継ぎ、みんなの知恵と工夫と能力を大いに発揮し、八峰町の発展に尽くして欲しい。」と祝辞を述べました。

その後、役場庁舎前では、慣れ親しんだ「八森町役場」の銘板が降ろされ、その役目を終えました。

長年慣れ親しんだ銘板が降ろされました

峰浜村では役場内で閉庁式を行い、始めに役場玄関前に掲げられていた「峰浜村役場」の銘板をはずした後、芹田村長が「さまざまな思いが皆さんの心の中にあると思いますが、心を切り替え、八峰町では新しいまちづくりに全力を尽くしてほしい。」と述べて、職員らを激励しました。

平成の大合併で秋田県内では最後となった「八峰町」のスタート。職員らは魅力ある町づくりを目指し、地域の振興、福祉の充実などに力を尽くすことを誓い合いました。

職員を前に閉庁のあいさつをしました

こどもたちの感性が光る

「はちもり八景」フォトコンテスト表彰式

3月18日、「はちもり八景」フォトコンテストの表彰式がファガスで行われました。

今年は小学生の部のみの開催でしたが、純粋な感性で八森の風景を映し出した作品110点が寄せられました。その中から町長賞、観光協会会長賞、商工会長賞、入選が発表され、受賞者には賞状が贈られました。

これからも八峰町の風景を写真に残してくださいね。

主な受賞者は次のとおりです

●町　長　賞

古　田　千　里（観海小・5年）
菅　原　真　由（岩館小・4年）
秋　田　智　行（八森小・6年）

●観光協会会長賞

藤　田　　康（観海小・4年）
鈴　木　優　也（岩館小・1年）

●商工会長賞

和　平　侑　奈（観海小・6年）

受賞おめでとうございます

「リゾートしらかみ」に「くまげら」が増便

八峰の絶景を全国へ

3月からJR五能線を走る「リゾートしらかみ」に新編成車両「くまげら」が仲間入りし、運行を開始しました。これまでの「ぶな」「青池」による1日2往復の運行から、3月からは「くまげら」を加えた3往復に変更。より多くの人たちが「リゾートしらかみ」の旅を満喫できるようになりました。

新車両「くまげら」は白神山地に生息する「クマゲラ」をイメージしたもので、外観は「クマゲラ」の赤色、日本海の夕日の黄色を基調としたデザインとなっています。

世界遺産白神山地のすそ野を縫うようにして走る五能線は、全国的にも有名で、新車両「くまげら」の加入により、また一味違った五能線の旅を楽しむことができるのではないでしょうか。

新しくお目見えした「くまげら」

お母さんに手を引かれ町内の子ども園で入園式

4月5日、町内の5子ども園で入園式が行われました。岩館子ども園では2人、観海子ども園では10人、八森子ども園では8人、沢目子ども園では15人、塙川子ども園では7人の合わせて42人が今年から新しく子ども園の仲間に加わりました。

観海子ども園では、新しく入園する子どもたちが、お母さん、お父さんの隣にぴったりと寄り添っていましたが、名前を呼ばれると元気いっぱいに返事をしていました。千葉町長職務執行者は「大きな声であいさつすることを約束して下さい。」とお祝のことばを述べ、子どもたちはじっと話しを聞いていました。

お母さんに寄り添って

豊かな漁場を目指して並型魚礁を沈設しました

このほど、岩館沖1，600mで並型魚礁の沈設を行いました。これは人工的にブロックなどを海底に設置して、魚や海藻など海に住む生き物たちが集まる豊かな漁場を作り出すものです。

八森海域には、海底に並型魚礁が設置されていましたが数量が少なかったため、漁業者が集中してしまうというのが現状でした。

そこで、総事業費約2，500万円をかけ、組立礁3基とコンクリートブロック25個を沈設しました。

これにより広い漁場が確保されます。

次々とブロックが沈められました

岩館海岸に迷い込みイルカが打ち上げられる

3月25日、岩館海岸にイルカが打ち上げられているのが見つかり、国立科学博物館の教授などが訪れて調査が行われました。

このイルカは体長213㎝で、オスのカマイルカと見られています。カマイルカは太平洋沿岸から日本海と生息範囲が広く、日本で一番数多く見られるイルカと言われています。定置網漁に於いて魚と一緒に捕獲されてしまうケースが多いそうです。

詳細な調査をしたあと、イルカは砂に埋められました。

調査したあと、砂に埋められました

手這坂が「残したいね日本の風景」に掲載される

手這坂がこのたび、藤岡和賀夫著書『残したいね日本の風景』（東北五十色）に掲載されて全国に出版されます。藤岡さんは電通出身のプロデューサーで、東北50カ所の懐かしい日本の風景を残した名所を紹介しています。

この出版を紹介したNHKの番組が近く放送される予定で、手這坂でも生中継が行われます。

本の出版で訪問者も増えそうです